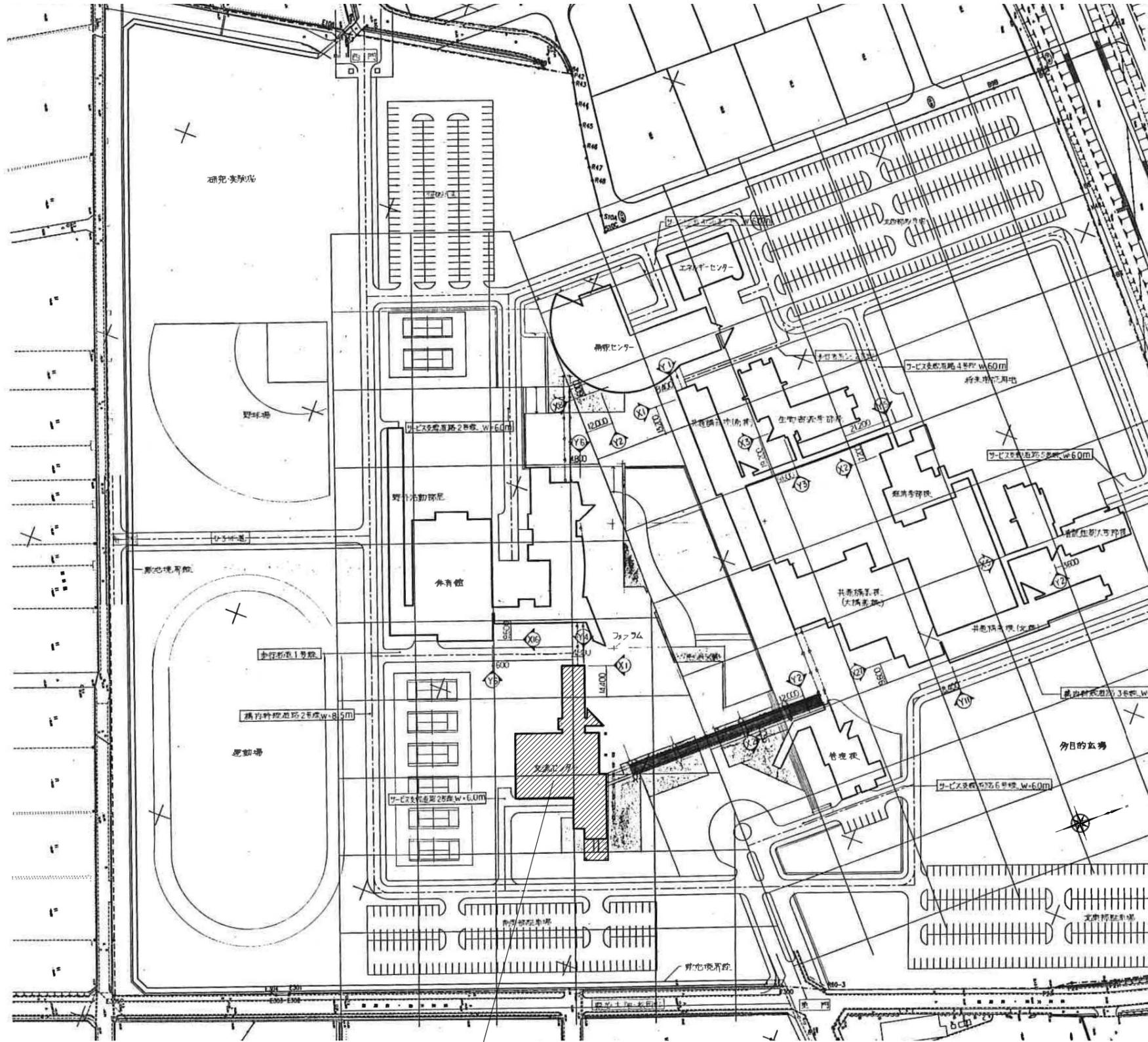


福井県立大学 Global Gateway 機械設備工事

図面番号	図面名称
01	M-00 表紙図面目録
02	M-01 機械設備工事特記仕様書1
03	M-02 機械設備工事特記仕様書2
04	M-03 配置図、付近見取図
05	M-04 換気機器表(新設)、空調機器表(撤去)
06	M-05 機械設備 1階平面図詳細図(東側)(改修後)
07	M-06 機械設備 2階平面図詳細図(東側)(改修後)
08	M-07 機械設備 1階平面図詳細図(西側)(改修前後)
09	M-08 空調設備 配管系統図(現況)
10	M-09 空調設備 配管1階平面図(改修前)
11	M-10 空調設備 配管2階平面図(改修前)
12	M-11 空調設備 ダクト系統図(現況)
13	M-12 空調設備 ダクト1階平面図(改修前)
14	M-13 空調設備 ダクト2階平面図(改修前)

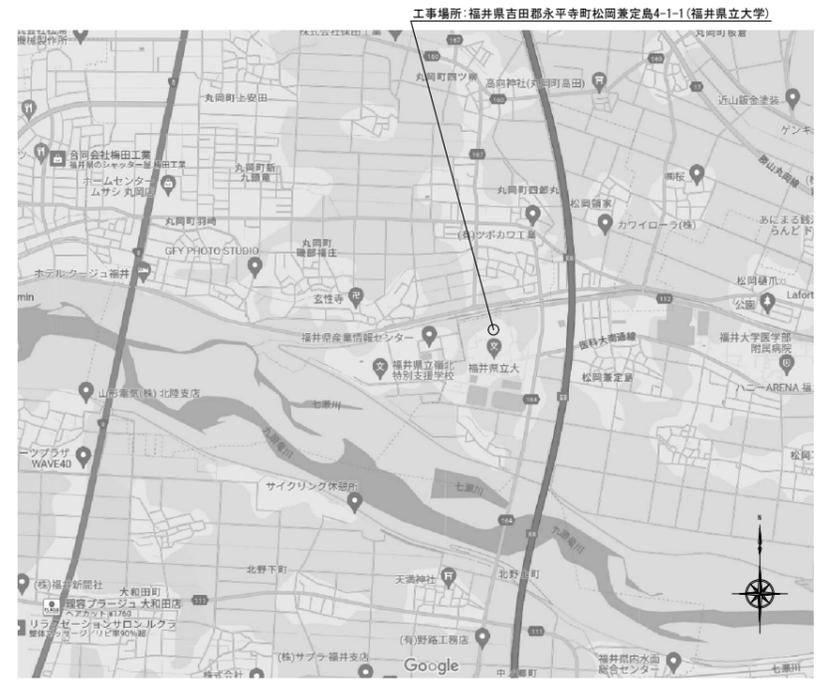
<p>●屋外埋設配管</p> <p>標準仕様書第2編 2.7.1 または改修標準仕様書第2編 2.5.1 による。</p> <p>(1) 埋設深度は、次のとおりとする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 ※地表面（舗装がある場合は、舗装下面（路盤））から 300mm 以上 ※車両道路（構内車両道路程度） 地表面から 600mm 以上 ○ 地表面から mm 以上</p> <p>(2) 配管下端（管底-100mm）および配管上端（管頂+100mm）に砂地業（山砂類または再生材）を施したあと、根切り土の中の良質土で埋戻す。</p> <p>(3) 管を埋戻す場合は、土被り150mm程度の深さに埋設表示用アルミテープまたはポリエチレンテープ等を埋設する。ただし、排水管は不要とする。</p> <p>(4) 曲りおよび分岐部には地中埋設標を打込むこと。</p> <p>●屋内埋設配管</p> <p>(1) 給水、ガスおよび消火配管は、土間コンクリート直下の地業部分に配管し、周囲を砂で埋戻す。</p> <p>(2) 排水管も上記に準じ、配管上部の地業は砂に置き換える。</p> <p>(3) 配管は原則として、土間コンクリートより吊りボルトにて吊り下げる。吊り間隔は屋内配管に準ずる。</p> <p>●保温および塗装</p> <p>(1) 標準仕様書において、ロックウール保温材、グラスウール保温材及びポリスチレンフォーム保温材が併記されている箇所は、いずれかを使用する。</p> <p>(2) 屋外露出配管（冷媒管を除く）の保温外装材は次による。 ○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板</p> <p>(3) 屋内露出配管（冷媒管を除く）の保温外装材は、原則、合成樹脂製カバー1とする。</p> <p>(4) 弁・ストレーナなどの金属製カバーおよびタンク類の保温外装材の種類は、次による。 ○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○アルミニウム板 ○アルミニウム板</p> <p>(5) 車庫に露出のダクトおよび配管の保温は、機械室による。</p> <p>(6) 各場所に出露の保温を施さないダクトおよび配管の塗装は以下による。 外壁廻り ※要 ○不要 倉庫・倉庫 ○要 ※不要 屋上階 ○要 ※不要 機械室 ○要 ※不要 車庫 ○要 ※不要 一般居室 ※要 ○不要 倉庫 ○要 ○不要 ○図示</p> <p>(7) 合成樹脂製支持受 ※硬質ウレタンフォームに準ずるもの ○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの</p> <p>○吹出口および吸込口ボックス</p> <p>ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合は JIS A 4009（空気調和および換気設備用ダクトの構成部材）によるものとし、厚さ 0.6mm 以上の亜鉛鉄板で補強を施したもとする。 ボックスの吊り方は3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。 なお大気温度空調等の場合は吹出口ボックス内に露出となる吊りボルトに結露対策すること。</p> <p>○エポキシ樹脂ライニング</p> <p>※加熱乾燥 ○常温乾燥</p> <p>●電線類および電線管</p> <p>電線類および電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による。 電線類は原則としてEM電線およびEMケーブルを使用する。</p> <p>●ボックス</p> <p>樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。</p> <p>●容量等の表示</p> <p>機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 但し、電動機の出力、燃料消費量および圧力損失は表示された数値以下とする。</p> <p>○誘導電動機</p> <p>電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JIS C 4213（低圧三相かご形誘導電動機-低圧トランジスタモータ）による。</p> <p>●スリーブ</p> <p>柱、梁および耐震壁以外の箇所、開口補強が必要、かつ、スリーブ径が200φ以下の部分に於ける場合は、紙製板を使用してもよい。その場合は、変形防止の措置を講じ、かつ配管施工前に板栓を必ず取り除く。</p> <p>●鋼材工事</p> <p>機器付属金物および配管、ダクトの支持金物は標準仕様書第2編第4章第6節または改修標準仕様書第2編第7章第5節による。</p> <p>●はつり及び穴開け</p> <p>○防煙ダンパーおよび防火防煙ダンパー</p> <p>復旧方法は ※遠方復旧式 ○手動復旧式</p> <p>○消音内貼</p> <p>ダクトおよびチャンパー、消音エルボの内貼り（箇所図示）は次による。 (1) 消音内貼り部分の外部保温は ○要 ※不要 (2) チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。 (但し、ダクトおよび消音エルボは、内形寸法を示す。) (3) 空気調和機に取付けるサブライチャンパー、レタンチャンパーおよびダクト系で消音内貼したチャンパーには、内貼り仕様または断熱戸の点検口を設ける。</p> <p>○防火区画貫通部等の処理</p> <p>(1) 標準仕様書第2編2.8.1(1) または改修標準仕様書第2編2.6.1(1) による。 (2) 大臣認定を受けた工法で施工する場合は、認定書の写しを提出し、監督職員の承諾を受けるとともに、認定工法の表示を行う。</p> <p>○取付枠</p> <p>防火区画部に取付付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。</p> <p>○防火区画</p> <p>○平面階</p> <p>○図示</p> <p>○掲示板</p> <p>機械室に操作順序、注意事項、連絡先および系統図などを記入した掲示板を設ける。</p> <p>●機器名称等の表示</p> <p>標準仕様書第1編第1章第7節1.7.4または改修標準仕様書第1編第1章第8節1.8.5によるほか、機器に表示する内容は監督職員の指示による。</p> <p>●他工事との取り合い</p> <p>図面に特記なき場合は、表-2「工事区分表」によるほか、機器の設置位置等取り合いの検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>●総合調整</p> <p>下記の項目について調整する。</p> <table border="1"> <tr> <td>●空気調和設備</td> <td>●風量調整（測定共） ○水量調整（測定共）</td> </tr> <tr> <td>●換気設備</td> <td>●風量調整（測定共） ○室内空気流およびじんあいの測定 ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共） ○停電・復電動作確認</td> </tr> <tr> <td>○排煙設備</td> <td>○風量調整（測定共） ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共）</td> </tr> <tr> <td>●給水設備</td> <td>●飲料水の水质の測定（測定項目は以下による） ○水质基準に関する省令 ○建築物における衛生的環境の確保に関する法律（以下、「ビル管法」という）施行規則第四条第一項イ ※厚生労働大臣告示119号 第二の一の（4） ○雑用水の水质の測定 ※ビル管法施行規則第四条の二による</td> </tr> </table>	●空気調和設備	●風量調整（測定共） ○水量調整（測定共）	●換気設備	●風量調整（測定共） ○室内空気流およびじんあいの測定 ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共） ○停電・復電動作確認	○排煙設備	○風量調整（測定共） ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共）	●給水設備	●飲料水の水质の測定（測定項目は以下による） ○水质基準に関する省令 ○建築物における衛生的環境の確保に関する法律（以下、「ビル管法」という）施行規則第四条第一項イ ※厚生労働大臣告示119号 第二の一の（4） ○雑用水の水质の測定 ※ビル管法施行規則第四条の二による	<p>●方式</p> <p>○全空気方式（○中央 ○各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式</p> <p>●個別方式</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">場所</th> <th colspan="4">屋内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th>一般居室</th> <th>○</th> <th>○</th> <th>○</th> </tr> <tr> <th>時期</th> <th>温度(D.B)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(D.B)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> <tr> <td>夏期</td> <td>35.4℃</td> <td>55.3%</td> <td>28℃</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>-1.0℃</td> <td>81.4%</td> <td>19℃</td> <td>40%</td> </tr> </table> <p>●ダクトの種類</p> <p>※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト</p> <p>●ダクトの工法</p> <p>●アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法） （ただし、長辺の長さが1,500mm以下の部分）</p> <p>●ダクトの分岐方法</p> <p>給気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式</p> <p>●保温および塗装</p> <p>標準仕様書または改修標準仕様書の当該事項による。ただし、次の部分は本仕様とする。 (図面特記部分は除く) 1) 冷媒管の保温外装は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">屋内</th> <th>単独配管</th> <td>隠ぺい部 ※不要 ○要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示 露出部 ※要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示</td> </tr> <tr> <th>集合配管</th> <td>隠ぺい部 ※不要 ○要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示 露出部 ※要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">屋外</th> <th>単独配管</th> <td>○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○図示 ●保温化粧ケース（●樹脂製○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）</td> </tr> <tr> <th>集合配管</th> <td>○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○図示 ○保温化粧ケース（○樹脂製○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）</td> </tr> </table> <p>屋外における保温化粧ケースの下部カバーは ○要 ※不要 とする。 保温化粧ケースを用いる場合は管部にずれ止め固定を施す。</p> <p>2) 弁・ストレーナなどの金属製カバー外装種別は、次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>屋内</th> <td>※カラ—亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム板</td> </tr> <tr> <th>屋外</th> <td>○カラ—亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ※ステンレス鋼板 ○アルミニウム板</td> </tr> </table> <p>3) エアー抜き管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また保温を行う範囲はエアークロスまでとする。</p> <p>4) 油管の地中埋設管は標準仕様書第2編第2章第7節2.7.3(3)による。</p> <p>5) 保温を施す膨張タンク等のふたおよびネック部分の保温は ※要 ○不要 とする。</p> <p>6) 暗渠内（ピット内を含む）の空調用パイプは保温（○有 ※無）とする。</p> <p>7) 下記部分の冷却水配管は、保温（防露）を行い、仕様は温水管の項による。</p> <p>8) 廻りダクトの保温は、保温厚さ25mmとし、範囲は図示による。</p> <p>9) 外気ダクトの保温は、保温厚さ25mmとする。</p> <p>●温度計</p> <p>温度計は（※工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○）とし、取付部は下記による。 ○冷凍機の冷水管（送り、返り）および冷却水管（送り、返り） ○直置き吸収冷水水機冷水管の冷水管（送り、返り）および冷却水管（送り、返り） ○ボイラーの温水管（返り） ○空気調和機の冷水管（送り、返り）および三方弁装置後の冷水管（返り） ○熱交換器の温水管（送り、返り） ○冷水水ヘッダー（柱）および冷水水ヘッダーの各返り管 ○空気調和機（パッケージ形を含む）のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入れダクトおよびレタンチャンパー</p> <p>○圧力計</p> <p>取付部は下記による。 ○冷凍機の冷水管（送り、返り）および冷却水管（送り、返り） ○空気調和機の冷水管（送り、返り） ○直置き吸収冷水水機冷水管の冷水管（送り、返り）および冷却水管（送り、返り） ○熱交換器の温水管（送り、返り）</p> <p>○瞬間流量計</p> <p>ピトー管方式によるもので止水コック付とし、形式および取付部は下記による。 なお、着脱形支持部は（○40A用 個 ○100A用 個 ○250A用 個） 附属とする。 ○冷凍機の冷水管および冷却水管（送りまたは返り）に（○固定形 ○着脱形）を設ける。 ○直置き吸収冷水水機冷水管および冷却水管（送りまたは返り）に（○固定形 ○着脱形）を設ける。 ○冷水水ヘッダーの（○送り管 ○各返り管）に（○固定形 ○着脱形）を設ける。</p> <p>○鋼板製煙道</p> <p>長さ ※図示</p> <p>○ばい煙濃度計</p> <p>○設けない ○設ける（電源はボイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む） ※ファン付き ○ファンなし 煙道の直線部に80φ以上のフランジ付きの検査口を設ける。</p> <p>○ばいじん量測定口</p> <p>●空調用ドレン管</p> <p>空調用ドレン管は通水試験を行う。</p> <p>●ダクトの種類</p> <p>※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト</p> <p>○ダクトの工法</p> <p>○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法） （ただし、長辺の長さが1,500mm以下の部分）</p> <p>○ダクトの分岐方法</p> <p>給気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気用ダクト ○割込み方式 ○直付け方式</p> <p>○厨房排気ダクトの板厚</p> <p>厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>ダクトの長辺</th> <th>板厚</th> </tr> <tr> <td>450mm以下</td> <td>0.6mm</td> </tr> <tr> <td>450mmを超え1200mm以下</td> <td>0.8mm</td> </tr> <tr> <td>1200mmを超え1800mm以下</td> <td>1.0mm</td> </tr> <tr> <td>1800mmを超えるもの</td> <td>1.2mm</td> </tr> </table> <p>○排気ダクトのシール</p> <p>標準仕様書第3編 2.2.1 によるものとし、施工箇所は下記とする。 ○厨房系統 ○浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統</p> <p>○消音ボックス付送風機</p> <p>標準仕様書第3編 1.11.3 の当該事項による。</p>	場所	屋内（調整目標値）				一般居室	○	○	○	時期	温度(D.B)	湿度(RH)	温度(D.B)	湿度(RH)	夏期	35.4℃	55.3%	28℃	50%	冬期	-1.0℃	81.4%	19℃	40%	屋内	単独配管	隠ぺい部 ※不要 ○要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示 露出部 ※要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示	集合配管	隠ぺい部 ※不要 ○要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示 露出部 ※要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示	屋外	単独配管	○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○図示 ●保温化粧ケース（●樹脂製○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）	集合配管	○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○図示 ○保温化粧ケース（○樹脂製○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）	屋内	※カラ—亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム板	屋外	○カラ—亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ※ステンレス鋼板 ○アルミニウム板	ダクトの長辺	板厚	450mm以下	0.6mm	450mmを超え1200mm以下	0.8mm	1200mmを超え1800mm以下	1.0mm	1800mmを超えるもの	1.2mm	<p>○排気フード</p> <p>排気フードの補強、支持金物、接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は次による。 ※ステンレス鋼板（補強共）</p> <p>○保温</p> <p>浴室・厨房（多湿箇所）の外気取入ダクトの保温 ※要 ○不要 外気取入ダクトの保温（空調を行っている室について） ※要 ○不要 全熱交換器までの室外側ダクトの保温（空調を行っている室について） ※要 ○不要 全熱交換器以降の室内側ダクトの保温（空調を行っている室について） ○要 ※不要 上記以外で外気取入ダクトに保温を行う室： ※図示による 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第3編第3章第1節による。</p> <p>○排煙対象部分</p> <p>○廊下 ○事務室 ○図示 最大面積 m²</p> <p>○ダクトの種類</p> <p>○高圧1ダクト ○高圧2ダクト</p> <p>○ダクトの工法</p> <p>※アングルフランジ工法</p> <p>○ダクトの材料</p> <p>※亜鉛鉄板製 ○普通鋼板製</p> <p>○排煙口</p> <p>(1) 形状 ○スリット フェース形 ○パネル形 ○ダンパー形 (2) 排煙口の開放 ○手動 ○機械式 ○電気式 ○煙感知器連動 (3) 復旧装置 ○手元復帰式（○手動式 ○電気式） ○遠方復帰式 (4) ダンパー本体および操作箱との渡り配線は本工事とする。</p> <p>○保温</p> <p>床下および暗渠内の保温 ○要（図示） ※不要</p> <p>●取付高さ</p> <p>洗面器の取付高さ（床面より前縁上端まで）は次による。ただし、身体障害者用器具は除く。 洗面器 ※800mm ○750mm 「標準図」による</p> <p>●給水方式</p> <p>●水道直結方式 ○高置タンク方式 ○ポンプ直送方式 ○増圧ポンプ方式</p> <p>●弁類</p> <p>●飲料水系統の弁類は厚生労働省基準に準じた給レスとする。</p> <p>●水栓柱</p> <p>●合成樹脂製（70×70×1300H） ○ステンレス製（ ） 特記なき場合、水栓の取付高さは約600mmとする。 ○要（○本工事 ○別途工事） ○不要 ●既存量水器使用 名称： 〔屋内〕 ○分流式 ●合流式 〔屋外〕 ○分流式 ●合流式 ポンプ排水 ○有り ○汚物 ○雑排水 ○汚水 ○浄化槽2次側） ●無し</p> <p>●排水方式</p> <p>汚水と雑排水 〔屋内〕 ○分流式 ●合流式 汚水・雑排水と雨水 〔屋外〕 ○分流式 ●合流式 ポンプ排水 ○有り ○汚物 ○雑排水 ○汚水 ○浄化槽2次側） ●無し</p> <p>●放流先</p> <p>(1) 汚水 ●直放流下水管 ○浄化槽 (2) 雑排水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○別途樹（建築工事） (3) 雨水ポンプアップ ○直放流下水管 ○雨水側溝（建築工事） ○雨水樹（建築工事） (4) 湧水ポンプアップ ○直放流下水管 ○雨水側溝（建築工事） ○雨水樹（建築工事）</p> <p>○負担金</p> <p>○要（○本工事 ○別途工事） ○不要 ●既存公設あり 名称： ○中央式 ●局所式</p> <p>●給湯方式</p> <p>○中央式 ●局所式</p> <p>○保温</p> <p>(1) 膨張管・補給水管の保温は冷水水管に準ずる。 (2) ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編 3.1.5 の表2.3.5による。</p> <p>○消火設備の種類</p> <p>○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火（ ） ○連結給水管 ○連結散水 ○フード等用簡易自動消火装置 ○屋外消火栓 ○消防用水</p> <p>○保温</p> <p>消火用充水タンクの保温を ※施工する（膨張タンクによる） ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ※施工しない ○施工する（膨張タンクによる） 屋外露出部の保温を ※施工する（給水管の保温仕様による） ○施工しない</p> <p>○ガスの種類</p> <p>○液化石油ガス（※50kg ○20kg） ○都市ガス（発熱量 KJ/m²(N)） ガス供給事業者名： ○ネジ接合 ○SGM工法 ○PE管工法</p> <p>○土中埋設管の接合方法</p> <p>○ネジ接合 ○SGM工法 ○PE管工法</p> <p>○ビット内施工法</p> <p>※溶接接合</p> <p>○負担金</p> <p>○要（○本工事 ○別途工事） ○不要</p> <p>○工事範囲</p> <p>○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取外し再取付</p> <p>○監視方式</p> <p>○警報装置 ○簡易形監視制御装置 ○中央監視制御装置</p>	<p>表-1 「配管材料区分」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">空調配管</th> <th colspan="2">用途</th> <th rowspan="2">名称・種類</th> </tr> <tr> <th>冷水水管・膨張管・エア抜き管・膨張タンクより、</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10"> <p>給水配管</p> <p>一般配管</p> <p>地中配管</p> <p>排水配管</p> <p>屋内雑排水管</p> <p>屋内汚水管</p> <p>屋外汚水・雑排水管</p> <p>通気管</p> <p>ポンプアップ排水管</p> <p>衛生器具との接続管</p> <p>給湯配管</p> <p>消火配管</p> <p>ガス管</p> </td> <td>ボイラー室への補給水管</td> <td>※配管用炭素鋼管(SGP白) ○耐熱性ライニング鋼管</td> <td>○ステンレス鋼管 ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)</td> </tr> <tr> <td>冷却水管</td> <td>※配管用炭素鋼管(SGP白) ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)</td> <td>○ステンレス鋼管 ○耐熱性ライニング鋼管 ○ポリ粉末ライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>蒸気給気管</td> <td>※配管用炭素鋼管(SGP黒)</td> <td>○圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)</td> </tr> <tr> <td>蒸気還管</td> <td>※圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)</td> <td>○ステンレス鋼管</td> </tr> <tr> <td>油管（一般配管）</td> <td>※配管用炭素鋼管(SGP黒)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃（地中配管）</td> <td>※ポリエチレン被覆鋼管</td> <td>○ステンレス鋼管</td> </tr> <tr> <td>空調用給水管</td> <td>※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ステンレス鋼管(SUS304)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○ポリ粉末ライニング鋼管</td> <td>○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)</td> </tr> <tr> <td>空調用排水管</td> <td>※排水用硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td> <td>○配管用炭素鋼管(SGP白)</td> </tr> <tr> <td>冷媒管</td> <td>※断熱材被覆鋼管 ○鋼管</td> <td>○圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)</td> </tr> <tr> <td>パッケージ形空調和機の2次側配線の仕様は製造者の標準仕様とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> <p>給水配管</p> <p>一般配管</p> <p>地中配管</p> <p>排水配管</p> <p>屋内雑排水管</p> <p>屋内汚水管</p> <p>屋外汚水・雑排水管</p> <p>通気管</p> <p>ポンプアップ排水管</p> <p>衛生器具との接続管</p> <p>給湯配管</p> <p>消火配管</p> <p>ガス管</p> </td> <td>一般配管</td> <td>※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 ○ステンレス鋼管(SUS316)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地中配管</td> <td>※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○塩ビライニング鋼管(SGP-VD, SGP-FVD) ○ステンレス鋼管(SUS316)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○水道用ポリエチレン層管（呼び径50以下） ○水道配水用ポリエチレン管(MMA K144(継手は電気融着式))（呼び径75以上）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水配管</td> <td>※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 〔地中埋設部〕 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋内汚水管</td> <td>※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 〔地中埋設部〕 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外汚水・雑排水管</td> <td>※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VU)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通気管</td> <td>※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 ○配管用炭素鋼管(SGP白)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプアップ排水管</td> <td>〔汚水・雑排水〕 ※塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○コーティング鋼管 継手は圧送排水鋼管用可とう接手(JPF MDJ 003) 〔湧水〕 ※塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○配管用炭素鋼管(SGP白) 継手はフランジまたはハウジング形継手とする。 （ただし汚水・雑排水槽内は塩ビライニング鋼管(SGP-FVD)とする。）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛生器具との接続管</td> <td>〔地中埋設部〕 ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配管材においてリサイクル材料が指定された場合、規格サイズがないものについては、リサイクル材料を使用しなくてもよい。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給湯配管</td> <td>※鋼管（壁または床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。） ○ステンレス鋼管(SUS304) ○ステンレス鋼管(SUS316) （呼び径 60Su 以下は拡管式、呼び径 75Su 以上は溶接接合）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火配管</td> <td>一般配管 ※配管用炭素鋼管(SGP白) ○圧力配管用炭素鋼管(STPG白) 地中配管 〔屋内および屋外〕 ※消防用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) 特殊消火管 ※圧力配管用炭素鋼管(STPG370 白 Sch80)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス管</td> <td>屋内配管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ポリエチレン被覆鋼管(ピット内) 屋外配管 ※ポリエチレン管 ○被覆鋼管(PS)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注 図面特記部分は除く。</p>	空調配管	用途		名称・種類	冷水水管・膨張管・エア抜き管・膨張タンクより、		<p>給水配管</p> <p>一般配管</p> <p>地中配管</p> <p>排水配管</p> <p>屋内雑排水管</p> <p>屋内汚水管</p> <p>屋外汚水・雑排水管</p> <p>通気管</p> <p>ポンプアップ排水管</p> <p>衛生器具との接続管</p> <p>給湯配管</p> <p>消火配管</p> <p>ガス管</p>	ボイラー室への補給水管	※配管用炭素鋼管(SGP白) ○耐熱性ライニング鋼管	○ステンレス鋼管 ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)	冷却水管	※配管用炭素鋼管(SGP白) ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)	○ステンレス鋼管 ○耐熱性ライニング鋼管 ○ポリ粉末ライニング鋼管	蒸気給気管	※配管用炭素鋼管(SGP黒)	○圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)	蒸気還管	※圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)	○ステンレス鋼管	油管（一般配管）	※配管用炭素鋼管(SGP黒)		〃（地中配管）	※ポリエチレン被覆鋼管	○ステンレス鋼管	空調用給水管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ステンレス鋼管(SUS304)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○ポリ粉末ライニング鋼管	○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)	空調用排水管	※排水用硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	○配管用炭素鋼管(SGP白)	冷媒管	※断熱材被覆鋼管 ○鋼管	○圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)	パッケージ形空調和機の2次側配線の仕様は製造者の標準仕様とする。			<p>給水配管</p> <p>一般配管</p> <p>地中配管</p> <p>排水配管</p> <p>屋内雑排水管</p> <p>屋内汚水管</p> <p>屋外汚水・雑排水管</p> <p>通気管</p> <p>ポンプアップ排水管</p> <p>衛生器具との接続管</p> <p>給湯配管</p> <p>消火配管</p> <p>ガス管</p>	一般配管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 ○ステンレス鋼管(SUS316)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)		地中配管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○塩ビライニング鋼管(SGP-VD, SGP-FVD) ○ステンレス鋼管(SUS316)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○水道用ポリエチレン層管（呼び径50以下） ○水道配水用ポリエチレン管(MMA K144(継手は電気融着式))（呼び径75以上）		排水配管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 〔地中埋設部〕 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)		屋内汚水管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 〔地中埋設部〕 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)		屋外汚水・雑排水管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VU)		通気管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 ○配管用炭素鋼管(SGP白)		ポンプアップ排水管	〔汚水・雑排水〕 ※塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○コーティング鋼管 継手は圧送排水鋼管用可とう接手(JPF MDJ 003) 〔湧水〕 ※塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○配管用炭素鋼管(SGP白) 継手はフランジまたはハウジング形継手とする。 （ただし汚水・雑排水槽内は塩ビライニング鋼管(SGP-FVD)とする。）		衛生器具との接続管	〔地中埋設部〕 ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)		配管材においてリサイクル材料が指定された場合、規格サイズがないものについては、リサイクル材料を使用しなくてもよい。			給湯配管	※鋼管（壁または床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。） ○ステンレス鋼管(SUS304) ○ステンレス鋼管(SUS316) （呼び径 60Su 以下は拡管式、呼び径 75Su 以上は溶接接合）		消火配管	一般配管 ※配管用炭素鋼管(SGP白) ○圧力配管用炭素鋼管(STPG白) 地中配管 〔屋内および屋外〕 ※消防用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) 特殊消火管 ※圧力配管用炭素鋼管(STPG370 白 Sch80)		ガス管	屋内配管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ポリエチレン被覆鋼管(ピット内) 屋外配管 ※ポリエチレン管 ○被覆鋼管(PS)		<p>表-2 「工事区分表」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備機器基礎等</th> <th colspan="2">工事内容</th> <th rowspan="2">建築</th> <th rowspan="2">電気</th> <th rowspan="2">機械</th> </tr> <tr> <th>設備機器基礎等</th> <th>工事内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10"> <p>設備用開口部</p> <p>RC造梁・床・壁の貫通部</p> <p>軽量鉄骨下地天井・壁の開口部</p> <p>貫通部・開口部の穴埋め補修</p> <p>貫通部・開口部の差出し</p> <p>床、天井点検口</p> <p>防油堤</p> <p>外部取付ガラリ</p> <p>雨水排水</p> <p>汚水、雑排水</p> <p>機器等へ直接接続する配管配線</p> <p>機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）</p> <p>機器付属の制御盤への電源供給配管配線</p> <p>機器と専用操作スイッチの渡り配管配線</p> <p>パッケージ形空調和機の2次側配管配線（接地共）</p> </td> <td>屋内基礎</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>屋上基礎</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外基礎</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>梁台、アンカーボルト</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>特記した基礎</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>下地補強</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S・SRC造梁の貫通部</td> <td>補強</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>スリーブ</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RC造梁・床・壁の貫通部</td> <td>補強</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>スリーブ</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨下地天井・壁の開口部</td> <td>型枠</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>補強</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>補強を要する切込み</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>補強を要しない切込み</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>貫通部・開口部の穴埋め補修</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>貫通部・開口部の差出し</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>床、天井点検口</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防油堤</td> <td>オイルサービスタンの防油堤</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外部取付ガラリ</td> <td>ダクト、チャンパーの接続用フランジ含む</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雨水排水</td> <td>配管、樹、蓋</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>汚水、雑排水</td> <td>配管、樹、蓋</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>機器等へ直接接続する配管配線</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>機器付属の制御盤への電源供給配管配線</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>機器と専用操作スイッチの渡り配管配線</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>パッケージ形空調和機の2次側配管配線（接地共）</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>	設備機器基礎等	工事内容		建築	電気	機械	設備機器基礎等	工事内容	<p>設備用開口部</p> <p>RC造梁・床・壁の貫通部</p> <p>軽量鉄骨下地天井・壁の開口部</p> <p>貫通部・開口部の穴埋め補修</p> <p>貫通部・開口部の差出し</p> <p>床、天井点検口</p> <p>防油堤</p> <p>外部取付ガラリ</p> <p>雨水排水</p> <p>汚水、雑排水</p> <p>機器等へ直接接続する配管配線</p> <p>機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）</p> <p>機器付属の制御盤への電源供給配管配線</p> <p>機器と専用操作スイッチの渡り配管配線</p> <p>パッケージ形空調和機の2次側配管配線（接地共）</p>	屋内基礎		●	●	屋上基礎		●		屋外基礎		●	●	梁台、アンカーボルト		●	●	特記した基礎		●	●	下地補強		●		S・SRC造梁の貫通部	補強	●			スリーブ	●		RC造梁・床・壁の貫通部	補強	●			スリーブ	●	●	軽量鉄骨下地天井・壁の開口部	型枠	●			補強	●			補強を要する切込み	●			補強を要しない切込み	●	●	貫通部・開口部の穴埋め補修		●	●	貫通部・開口部の差出し		●	●	床、天井点検口		●		防油堤	オイルサービスタンの防油堤	●		外部取付ガラリ	ダクト、チャンパーの接続用フランジ含む	●		雨水排水	配管、樹、蓋	●		汚水、雑排水	配管、樹、蓋	●	●	機器等へ直接接続する配管配線		●	●	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）		●	●	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		●	●	機器と専用操作スイッチの渡り配管配線		●	●	パッケージ形空調和機の2次側配管配線（接地共）		●	●
	●空気調和設備	●風量調整（測定共） ○水量調整（測定共）																																																																																																																																																																																																																																																					
	●換気設備	●風量調整（測定共） ○室内空気流およびじんあいの測定 ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共） ○停電・復電動作確認																																																																																																																																																																																																																																																					
	○排煙設備	○風量調整（測定共） ○騒音の測定（屋内外、敷地境界共）																																																																																																																																																																																																																																																					
	●給水設備	●飲料水の水质の測定（測定項目は以下による） ○水质基準に関する省令 ○建築物における衛生的環境の確保に関する法律（以下、「ビル管法」という）施行規則第四条第一項イ ※厚生労働大臣告示119号 第二の一の（4） ○雑用水の水质の測定 ※ビル管法施行規則第四条の二による																																																																																																																																																																																																																																																					
	場所	屋内（調整目標値）																																																																																																																																																																																																																																																					
		一般居室	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																		
	時期	温度(D.B)	湿度(RH)	温度(D.B)	湿度(RH)																																																																																																																																																																																																																																																		
	夏期	35.4℃	55.3%	28℃	50%																																																																																																																																																																																																																																																		
	冬期	-1.0℃	81.4%	19℃	40%																																																																																																																																																																																																																																																		
屋内	単独配管	隠ぺい部 ※不要 ○要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示 露出部 ※要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示																																																																																																																																																																																																																																																					
	集合配管	隠ぺい部 ※不要 ○要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示 露出部 ※要 ○保温化粧ケース（樹脂製） ○合成樹脂製カバー1 ○図示																																																																																																																																																																																																																																																					
屋外	単独配管	○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○図示 ●保温化粧ケース（●樹脂製○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）																																																																																																																																																																																																																																																					
	集合配管	○ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○図示 ○保温化粧ケース（○樹脂製○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板製○ステンレス鋼板製）																																																																																																																																																																																																																																																					
屋内	※カラ—亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム板																																																																																																																																																																																																																																																						
屋外	○カラ—亜鉛鉄板 ○溶融アルミニウム・亜鉛鉄板 ※ステンレス鋼板 ○アルミニウム板																																																																																																																																																																																																																																																						
ダクトの長辺	板厚																																																																																																																																																																																																																																																						
450mm以下	0.6mm																																																																																																																																																																																																																																																						
450mmを超え1200mm以下	0.8mm																																																																																																																																																																																																																																																						
1200mmを超え1800mm以下	1.0mm																																																																																																																																																																																																																																																						
1800mmを超えるもの	1.2mm																																																																																																																																																																																																																																																						
空調配管	用途		名称・種類																																																																																																																																																																																																																																																				
	冷水水管・膨張管・エア抜き管・膨張タンクより、																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>給水配管</p> <p>一般配管</p> <p>地中配管</p> <p>排水配管</p> <p>屋内雑排水管</p> <p>屋内汚水管</p> <p>屋外汚水・雑排水管</p> <p>通気管</p> <p>ポンプアップ排水管</p> <p>衛生器具との接続管</p> <p>給湯配管</p> <p>消火配管</p> <p>ガス管</p>	ボイラー室への補給水管	※配管用炭素鋼管(SGP白) ○耐熱性ライニング鋼管	○ステンレス鋼管 ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)																																																																																																																																																																																																																																																				
	冷却水管	※配管用炭素鋼管(SGP白) ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)	○ステンレス鋼管 ○耐熱性ライニング鋼管 ○ポリ粉末ライニング鋼管																																																																																																																																																																																																																																																				
	蒸気給気管	※配管用炭素鋼管(SGP黒)	○圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)																																																																																																																																																																																																																																																				
	蒸気還管	※圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)	○ステンレス鋼管																																																																																																																																																																																																																																																				
	油管（一般配管）	※配管用炭素鋼管(SGP黒)																																																																																																																																																																																																																																																					
	〃（地中配管）	※ポリエチレン被覆鋼管	○ステンレス鋼管																																																																																																																																																																																																																																																				
	空調用給水管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ステンレス鋼管(SUS304)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○ポリ粉末ライニング鋼管	○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)																																																																																																																																																																																																																																																				
	空調用排水管	※排水用硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	○配管用炭素鋼管(SGP白)																																																																																																																																																																																																																																																				
	冷媒管	※断熱材被覆鋼管 ○鋼管	○圧力配管用炭素鋼管(STPG黒)																																																																																																																																																																																																																																																				
	パッケージ形空調和機の2次側配線の仕様は製造者の標準仕様とする。																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>給水配管</p> <p>一般配管</p> <p>地中配管</p> <p>排水配管</p> <p>屋内雑排水管</p> <p>屋内汚水管</p> <p>屋外汚水・雑排水管</p> <p>通気管</p> <p>ポンプアップ排水管</p> <p>衛生器具との接続管</p> <p>給湯配管</p> <p>消火配管</p> <p>ガス管</p>	一般配管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 ○ステンレス鋼管(SUS316)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA)																																																																																																																																																																																																																																																					
	地中配管	※水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○塩ビライニング鋼管(SGP-VD, SGP-FVD) ○ステンレス鋼管(SUS316)（呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合） ○水道用ポリエチレン層管（呼び径50以下） ○水道配水用ポリエチレン管(MMA K144(継手は電気融着式))（呼び径75以上）																																																																																																																																																																																																																																																					
	排水配管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 〔地中埋設部〕 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)																																																																																																																																																																																																																																																					
	屋内汚水管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 〔地中埋設部〕 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)																																																																																																																																																																																																																																																					
	屋外汚水・雑排水管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VU)																																																																																																																																																																																																																																																					
	通気管	※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 ○配管用炭素鋼管(SGP白)																																																																																																																																																																																																																																																					
	ポンプアップ排水管	〔汚水・雑排水〕 ※塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○コーティング鋼管 継手は圧送排水鋼管用可とう接手(JPF MDJ 003) 〔湧水〕 ※塩ビライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○配管用炭素鋼管(SGP白) 継手はフランジまたはハウジング形継手とする。 （ただし汚水・雑排水槽内は塩ビライニング鋼管(SGP-FVD)とする。）																																																																																																																																																																																																																																																					
	衛生器具との接続管	〔地中埋設部〕 ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ※硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)																																																																																																																																																																																																																																																					
	配管材においてリサイクル材料が指定された場合、規格サイズがないものについては、リサイクル材料を使用しなくてもよい。																																																																																																																																																																																																																																																						
	給湯配管	※鋼管（壁または床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。） ○ステンレス鋼管(SUS304) ○ステンレス鋼管(SUS316) （呼び径 60Su 以下は拡管式、呼び径 75Su 以上は溶接接合）																																																																																																																																																																																																																																																					
消火配管	一般配管 ※配管用炭素鋼管(SGP白) ○圧力配管用炭素鋼管(STPG白) 地中配管 〔屋内および屋外〕 ※消防用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) 特殊消火管 ※圧力配管用炭素鋼管(STPG370 白 Sch80)																																																																																																																																																																																																																																																						
ガス管	屋内配管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ポリエチレン被覆鋼管(ピット内) 屋外配管 ※ポリエチレン管 ○被覆鋼管(PS)																																																																																																																																																																																																																																																						
設備機器基礎等	工事内容		建築	電気	機械																																																																																																																																																																																																																																																		
	設備機器基礎等	工事内容																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>設備用開口部</p> <p>RC造梁・床・壁の貫通部</p> <p>軽量鉄骨下地天井・壁の開口部</p> <p>貫通部・開口部の穴埋め補修</p> <p>貫通部・開口部の差出し</p> <p>床、天井点検口</p> <p>防油堤</p> <p>外部取付ガラリ</p> <p>雨水排水</p> <p>汚水、雑排水</p> <p>機器等へ直接接続する配管配線</p> <p>機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）</p> <p>機器付属の制御盤への電源供給配管配線</p> <p>機器と専用操作スイッチの渡り配管配線</p> <p>パッケージ形空調和機の2次側配管配線（接地共）</p>	屋内基礎		●	●																																																																																																																																																																																																																																																			
	屋上基礎		●																																																																																																																																																																																																																																																				
	屋外基礎		●	●																																																																																																																																																																																																																																																			
	梁台、アンカーボルト		●	●																																																																																																																																																																																																																																																			
	特記した基礎		●	●																																																																																																																																																																																																																																																			
	下地補強		●																																																																																																																																																																																																																																																				
	S・SRC造梁の貫通部	補強	●																																																																																																																																																																																																																																																				
		スリーブ	●																																																																																																																																																																																																																																																				
	RC造梁・床・壁の貫通部	補強	●																																																																																																																																																																																																																																																				
		スリーブ	●	●																																																																																																																																																																																																																																																			
軽量鉄骨下地天井・壁の開口部	型枠	●																																																																																																																																																																																																																																																					
	補強	●																																																																																																																																																																																																																																																					
	補強を要する切込み	●																																																																																																																																																																																																																																																					
	補強を要しない切込み	●	●																																																																																																																																																																																																																																																				
貫通部・開口部の穴埋め補修		●	●																																																																																																																																																																																																																																																				
貫通部・開口部の差出し		●	●																																																																																																																																																																																																																																																				
床、天井点検口		●																																																																																																																																																																																																																																																					
防油堤	オイルサービスタンの防油堤	●																																																																																																																																																																																																																																																					
外部取付ガラリ	ダクト、チャンパーの接続用フランジ含む	●																																																																																																																																																																																																																																																					
雨水排水	配管、樹、蓋	●																																																																																																																																																																																																																																																					
汚水、雑排水	配管、樹、蓋	●	●																																																																																																																																																																																																																																																				
機器等へ直接接続する配管配線		●	●																																																																																																																																																																																																																																																				
機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）		●	●																																																																																																																																																																																																																																																				
機器付属の制御盤への電源供給配管配線		●	●																																																																																																																																																																																																																																																				
機器と専用操作スイッチの渡り配管配線		●	●																																																																																																																																																																																																																																																				
パッケージ形空調和機の2次側配管配線（接地共）		●	●																																																																																																																																																																																																																																																				



工事対象建物: 交流センター

配置図 N.S

概要	
工事種別	機械設備改修整備工事
対象建物名称	交流センター
主要用途	大学
消防法上の区分	第7項
構造/階数	鉄筋コンクリート造/3階建て
延床面積	3352㎡ (整備面積: 概ね500㎡程)
<p>交流センター北側の吹抜け部分(キャリアセンター、交流ホール)に Global Gateway を整備、並びに、2階アクティブラーニング室(大)の整備に係る機械設備工事を行う。ただし、空調設備工事は、機器、ダクト及び配管の撤去を行うが、新設をダクトまでとし、機器及び配管は別途工事で整備する。</p> <p>また、空調設備機器の別途工事に係る換気設備機器も同様に別途工事で設備する。</p>	



付近見取図 N.S

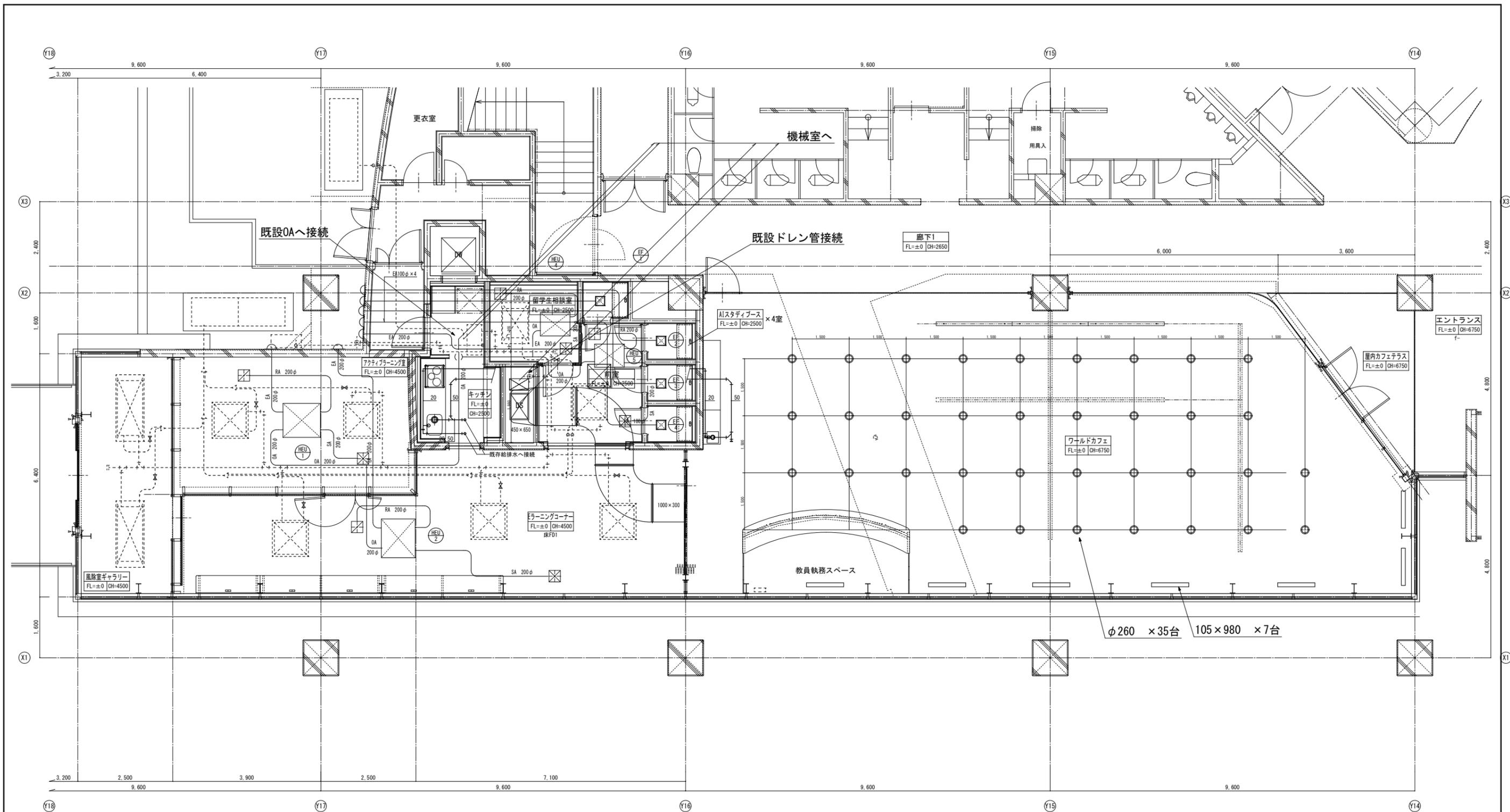
年度別	R7	公立大学法人 福井県立大学
令和8年 2月		

KMR	株式会社 木村建築事務所
	1級建築士事務所 福井県(L)115号 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村憲一

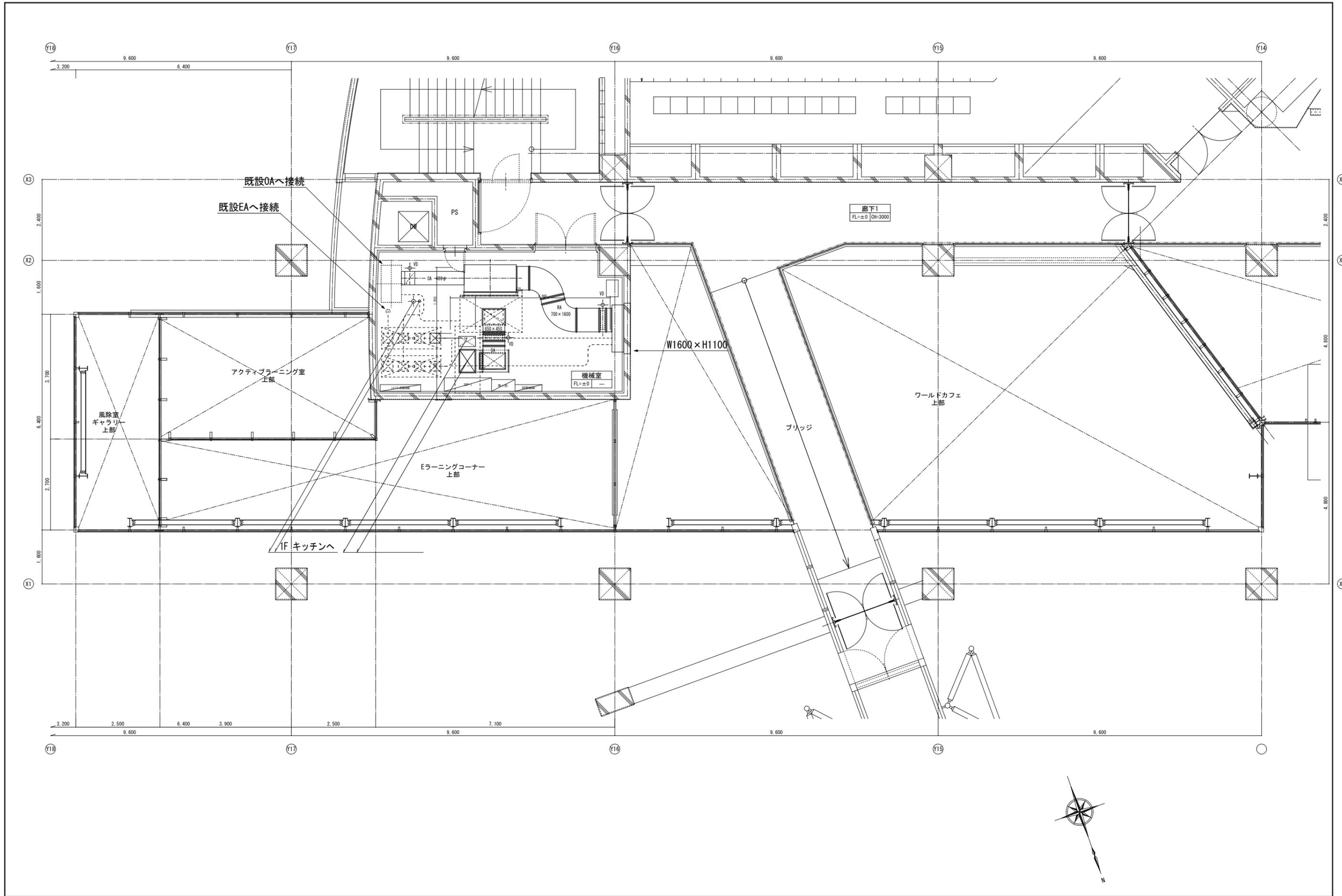
工事名称	福井県立大学 Global Gateway 機械設備工事	図面番号	M-03
設計	一級建築士 第356628号 高澤 徹	縮尺	N.S
配置図、付近見取図			

換気機器一覧表											
記号	名称	機器仕様	定格標準消費電力 (参考)			設計参考型番	1階	2階		合計	備考
			1Φ	100V	355w						
HEU 1	熱交換型換気扇	天井埋込型、DCインバーター CO2センサー付 深型SUSフード(防虫網付)*2、防振吊金具、消音型給排気グリル*2	1Φ	100V	355w	LGH-N65RXW2-C	1			1	7階ライブラリー室
HEU 2	熱交換型換気扇	天井埋込型、DCインバーター CO2センサー付 深型SUSフード(防虫網付)*2、防振吊金具、消音型給排気グリル*2	1Φ	100V	215w	LGH-N50RXW2-C	1			1	Eラーニングコーナー
HEU 4	熱交換型換気扇	天井埋込型、DCインバーター CO2センサー付 深型SUSフード(防虫網付)*2、防振吊金具、消音型給排気グリル*2	1Φ	100V	85w	LGH-N15RXW2-C	1			1	留学生相談室
FE 1~4	天井換気扇	本体樹脂製 (DCブラシレス) 深型SUSフード(防虫網付)、防振吊金具	1Φ	100V	2.5w	VD-10ZVC7	4			4	前室 スタディーズ

撤去機器表													
記号	品名	適用	撤去区分										計
			再 使用	設 備 工 事	建 築 工 事	キ ャ リ ア セ ン タ ー	相 談 室 1	相 談 室 2	湯 沸 室	機 械 室	ホ ー ル 上 部		
PAC 1	空冷ヒートポンプ式 パナソニックエアコン	天井埋込型外付、冷房：22.4kw、暖房：28.0kw 圧縮機：3Φ200V 3.4kw、送風機：(in) 0.18kw+0.18kw、(out) 0.75kw	なし	○		1						1	
RAC 1	空冷ヒートポンプ式 三菱重工	天井埋込型外付、冷房：4.5kw、暖房：5.4kw、室内機：2.5kw型*2台 圧縮機：1Φ200V 1.3kw、送風機：(in) 0.053kw*2、(out) 0.05kw	なし	○		1						1	
H 1	パナソニック ヒーター	壁掛型 ヒーター：1Φ200V-1.0kw 暖房能力：3600kcal/h	なし	○		2						2	
H 2	パナソニック ヒーター	壁掛型 ヒーター：1Φ200V-1.5kw 暖房能力：5400kcal/h	なし	○		4						4	
AC 1	空気調和機	1階+7階用(1)系統 冷房：2950kcal/h、暖房：2050kcal/h 風量：SA 4200m3/h、OA 1500m3/h 送風機：3Φ200V 2.2kw+1.5kw	なし	○						1		1	
AC 2	空気調和機	1階+7階用(2)系統 冷房：1850kcal/h、暖房：1100kcal/h 風量：SA 5500m3/h、OA 0m3/h 送風機：3Φ200V 2.2kw+2.2kw	なし	○						1		1	
AC 3	空気調和機	1階+6(1)系統 冷房：4100kcal/h、暖房：2860kcal/h 風量：SA 6000m3/h、OA 2000m3/h 送風機：3Φ200V 3.7kw	なし	○						1		1	
AC 4	空気調和機	1階+6(2)系統 ※+7階用側1台を撤去 冷房：1420kcal/h、暖房：710kcal/h 風量：SA 4200m3/h、OA 0m3/h 送風機：3Φ200V 1.5kw	なし	○						1		1	
FCU 2	ファンコイル	床置 (冷) 1150kcal/h (暖) 1360kcal/h、水量：4L/min、風量：280m3/h 1Φ100V 60w	なし	○		6						6	
FCU 6	ファンコイル	床置 (冷) 3450kcal/h (暖) 4070kcal/h、水量：12L/min、風量：840m3/h 1Φ100V 100w	なし	○		9						9	
VF 1	排気ファン	天井埋込型換気扇 Φ150×200CMH×30Pa×28.5w、1Φ100V	なし	○		1	1					2	
VF 2	排気ファン	天井埋込型換気扇 Φ150×250CMH×40Pa×33.5w、1Φ100V	なし	○				1				1	

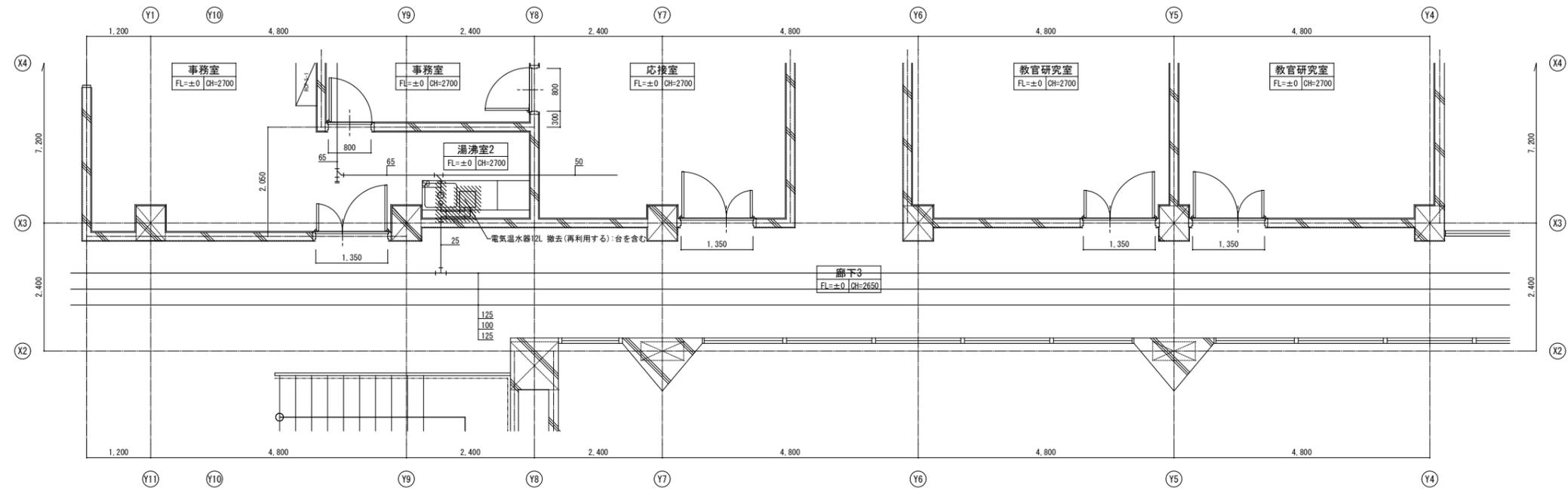
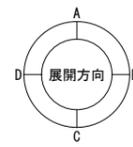


年度別 R7	公立大学法人 福井県立大学				 株式会社 木村建築事務所 1級建築士事務所 福井県(L)115号 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村憲一	工事名称 福井県立大学 Global Gateway 機械設備工事	図面番号 M-05
	令和 8年 2月	第一分画	第二分画	第三分画		設計 一級建築士 第356628号 高澤 徹	図面名称 機械設備 1階平面図詳細図(東側)(改修後)

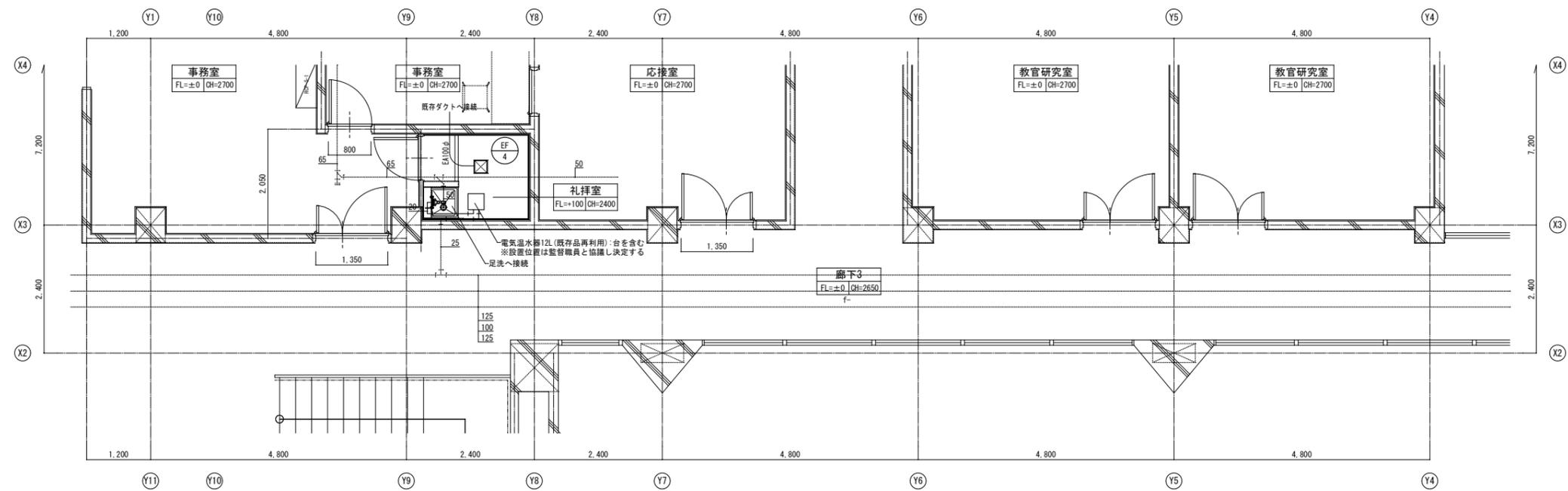
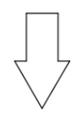


年度別 R7	公立大学法人 福井県立大学				 株式会社 木村建築事務所 1級建築士事務所 福井県(L)115号 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村憲一	工事名称	福井県立大学 Global Gateway 機械設備工事		図面番号	M-06
	令和 8年 2月	第一分科	第二分科	第三分科		審	設計	図面名称		縮尺
						機械設備 2階平面図詳細図(東側)(改修後)				

A1 : 原寸
A3 : 50%縮小図



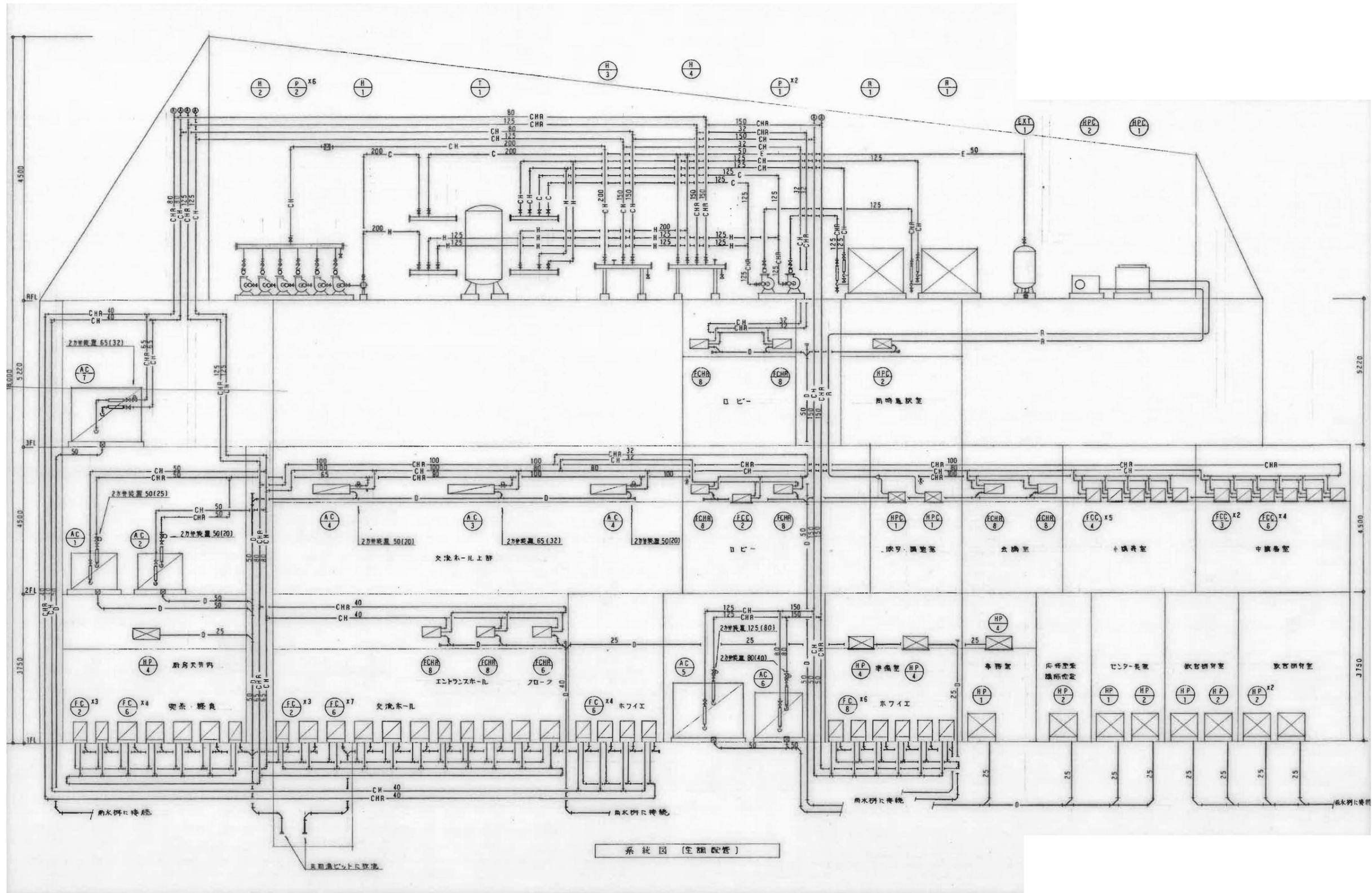
1平面詳細図(西側)(改修前) S=1:50



1平面詳細図(西側)(改修後) S=1:50

年度別 R7	公立大学法人 福井県立大学				株式会社 木村建築事務所 1級建築士事務所 福井県(L)115号 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村憲一	工事名称	福井県立大学 Global Gateway 機械設備工事		図面番号	M-07
	令和 8年 2月	第一分類	第二分類	第三分類		審	設計	図面名称	縮尺	1:50
						機械設備 1階平面図詳細図(西側)(改修前後)				

A1 : 原寸
A3 : 50%縮小図

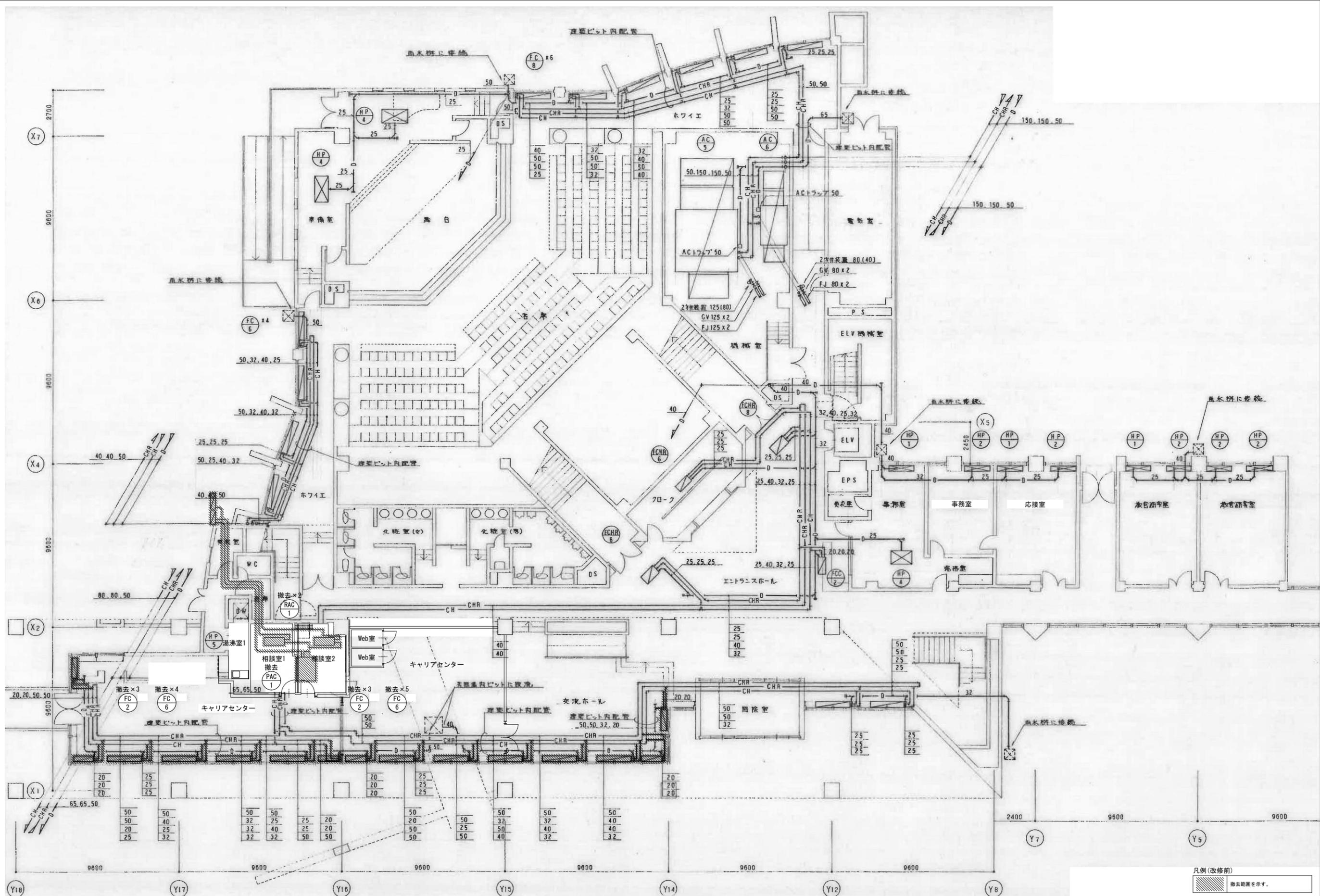


系統図 (空調配管)

※撤去範囲は平面図を参考

年度別 R7	公立大学法人 福井県立大学	KMR 株式会社 木村建築事務所 1級建築士事務所 福井県(L)115号 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村圭一	工事名称 福井県立大学 Global Gateway 機械設備工事	図面番号 M-08
令和 8年 2月	第一分欄 第二分欄 第三分欄 審 業	設計 一級建築士 第356628号 高澤 徹	図面名称 空調設備 配管系統図(現況)	縮尺 N.S

A1 : 原寸
A3 : 50%縮小



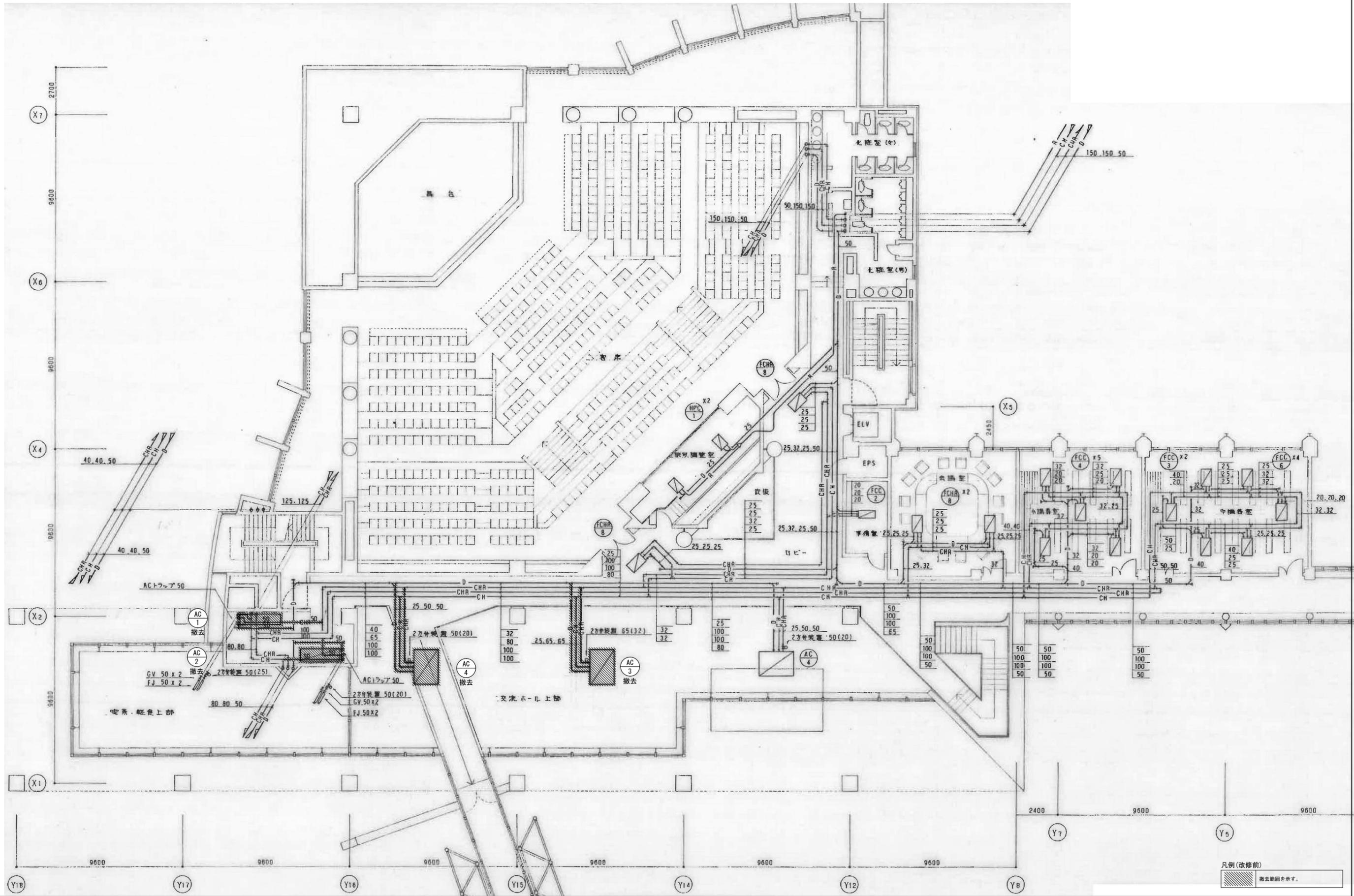
凡例(改修前)
 撤去範囲を示す。

年度別	R7
令和8年2月	
第一分科	
第二分科	
第三分科	
審	

公立大学法人 福井県立大学

KMR 株式会社 木村建築事務所
1級建築士事務所 福井県(L)115号 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村憲一

工事名称	福井県立大学 Global Gateway 機械設備工事	図面番号	M-09
図面名称	空調設備 配管1階平面図(改修前)	縮尺	1:100

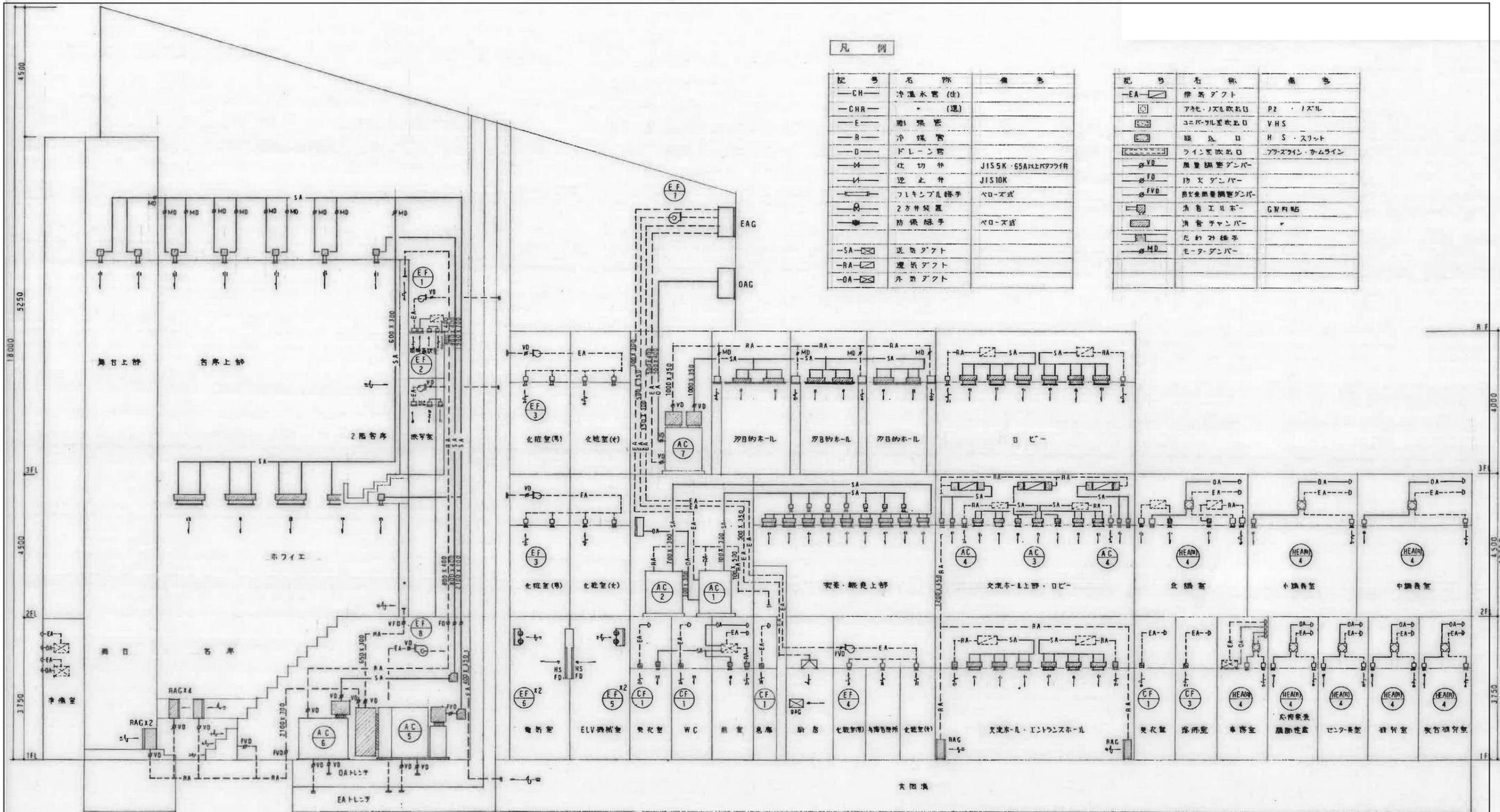


年度別	R7
第一分科	第一分科
第二分科	第二分科
第三分科	第三分科
第四分科	第四分科
第五分科	第五分科
第六分科	第六分科
第七分科	第七分科
第八分科	第八分科
第九分科	第九分科
第十分科	第十分科
第十一分科	第十一分科
第十二分科	第十二分科
第十三分科	第十三分科
第十四分科	第十四分科
第十五分科	第十五分科
第十六分科	第十六分科
第十七分科	第十七分科
第十八分科	第十八分科
第十九分科	第十九分科
第二十分科	第二十分科
第二十一分科	第二十一分科
第二十二分科	第二十二分科
第二十三分科	第二十三分科
第二十四分科	第二十四分科
第二十五分科	第二十五分科
第二十六分科	第二十六分科
第二十七分科	第二十七分科
第二十八分科	第二十八分科
第二十九分科	第二十九分科
第三十分科	第三十分科
第三十一分科	第三十一分科
第三十二分科	第三十二分科
第三十三分科	第三十三分科
第三十四分科	第三十四分科
第三十五分科	第三十五分科
第三十六分科	第三十六分科
第三十七分科	第三十七分科
第三十八分科	第三十八分科
第三十九分科	第三十九分科
第四十分科	第四十分科
第四十一分科	第四十一分科
第四十二分科	第四十二分科
第四十三分科	第四十三分科
第四十四分科	第四十四分科
第四十五分科	第四十五分科
第四十六分科	第四十六分科
第四十七分科	第四十七分科
第四十八分科	第四十八分科
第四十九分科	第四十九分科
第五十分科	第五十分科
第五十一分科	第五十一分科
第五十二分科	第五十二分科
第五十三分科	第五十三分科
第五十四分科	第五十四分科
第五十五分科	第五十五分科
第五十六分科	第五十六分科
第五十七分科	第五十七分科
第五十八分科	第五十八分科
第五十九分科	第五十九分科
第六十分科	第六十分科
第六十一分科	第六十一分科
第六十二分科	第六十二分科
第六十三分科	第六十三分科
第六十四分科	第六十四分科
第六十五分科	第六十五分科
第六十六分科	第六十六分科
第六十七分科	第六十七分科
第六十八分科	第六十八分科
第六十九分科	第六十九分科
第七十分科	第七十分科
第七十一分科	第七十一分科
第七十二分科	第七十二分科
第七十三分科	第七十三分科
第七十四分科	第七十四分科
第七十五分科	第七十五分科
第七十六分科	第七十六分科
第七十七分科	第七十七分科
第七十八分科	第七十八分科
第七十九分科	第七十九分科
第八十分科	第八十分科
第八十一分科	第八十一分科
第八十二分科	第八十二分科
第八十三分科	第八十三分科
第八十四分科	第八十四分科
第八十五分科	第八十五分科
第八十六分科	第八十六分科
第八十七分科	第八十七分科
第八十八分科	第八十八分科
第八十九分科	第八十九分科
第九十分科	第九十分科
第九十一分科	第九十一分科
第九十二分科	第九十二分科
第九十三分科	第九十三分科
第九十四分科	第九十四分科
第九十五分科	第九十五分科
第九十六分科	第九十六分科
第九十七分科	第九十七分科
第九十八分科	第九十八分科
第九十九分科	第九十九分科
第一百分科	第一百分科

公立大学法人 福井県立大学

KMR 株式会社 木村建築事務所
 1級建築士事務所 福井県(L)115号
 管理建築士 一級建築士 第167899号 木村重一

工事名称	福井県立大学 Global Gateway 機械設備工事	図面番号	M-10
図面名称	空調設備 配管2階平面図(改修前)	縮尺	1:100
設計	一級建築士 第356628号 高澤 徹	原寸	A1
		縮小	A3 : 50%縮小



凡例

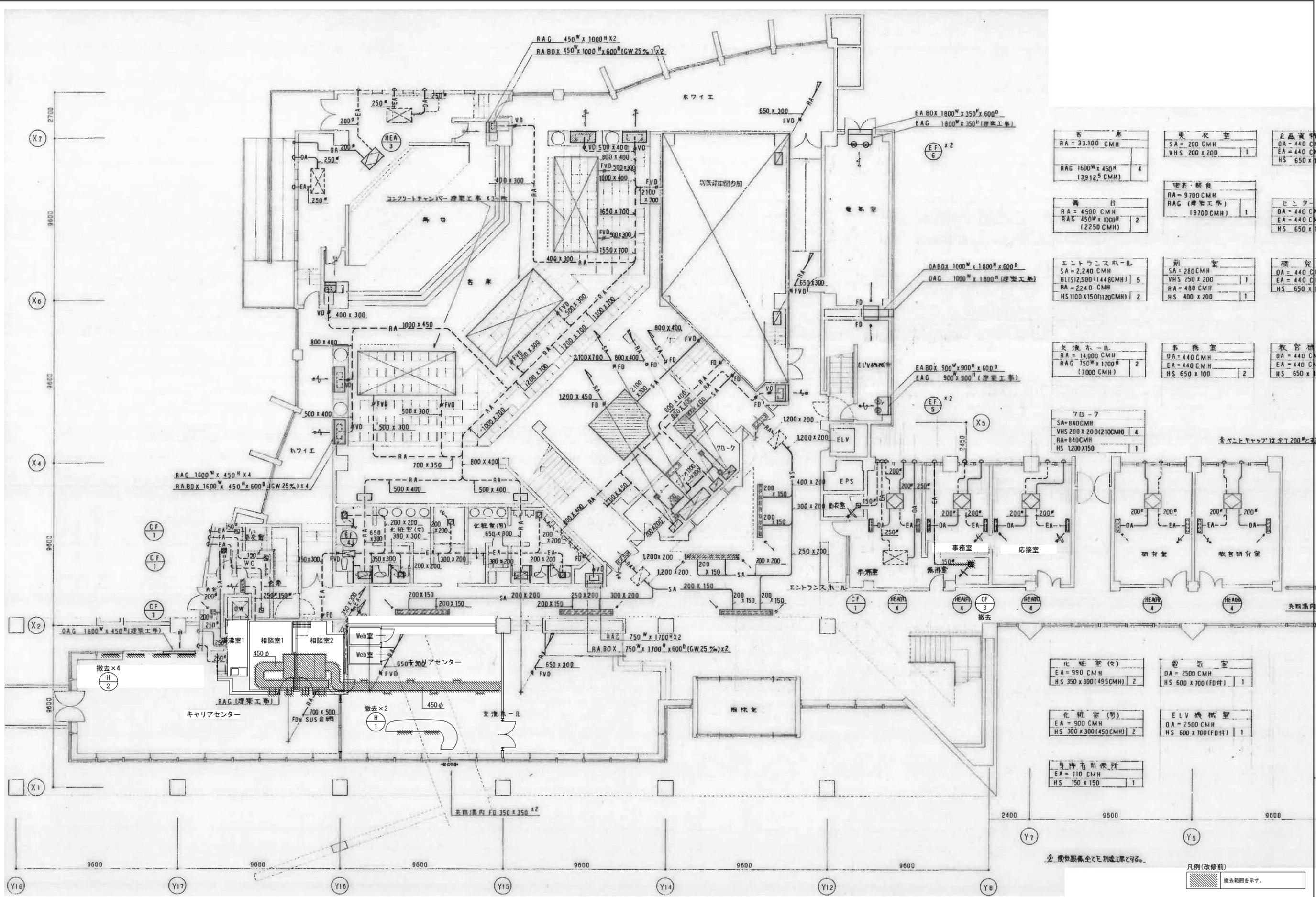
記号	名称	備考
—CH—	冷温水管 (仕)	
—CHR—	” (廻)	
—E—	断熱配管	
—R—	冷媒管	
—D—	ドレーン管	
—M—	仕切弁	JIS5K・65A以上バブタイプ
—V—	逆止弁	JIS10K
—F—	フレキシブル継手	ベローズ式
—S—	2方弁装置	
—B—	防振継手	ベローズ式
—SA—	送気ダクト	
—RA—	還気ダクト	
—OA—	外気ダクト	

記号	名称	備考
—EA—	排気ダクト	
—P2—	アネモ・メータ吹出口	P2・メータ
—VHS—	ユニバーサル吹出口	VHS
—HS—	暖気口	HS・スリット
—C—	ライン吹出口	フラス・ワイヤ・カムライン
—VD—	風量調整ダンパー	
—FD—	防炎ダンパー	
—FVD—	防炎風量調整ダンパー	
—G—	消音工口	GN内貼
—C—	消音チャンバー	
—M—	ためみ継手	
—MD—	モーターダンパー	

系統図 (ダクト)

※ 換気設備全ては別添工事とする。

※撤去範囲は平面図を参考



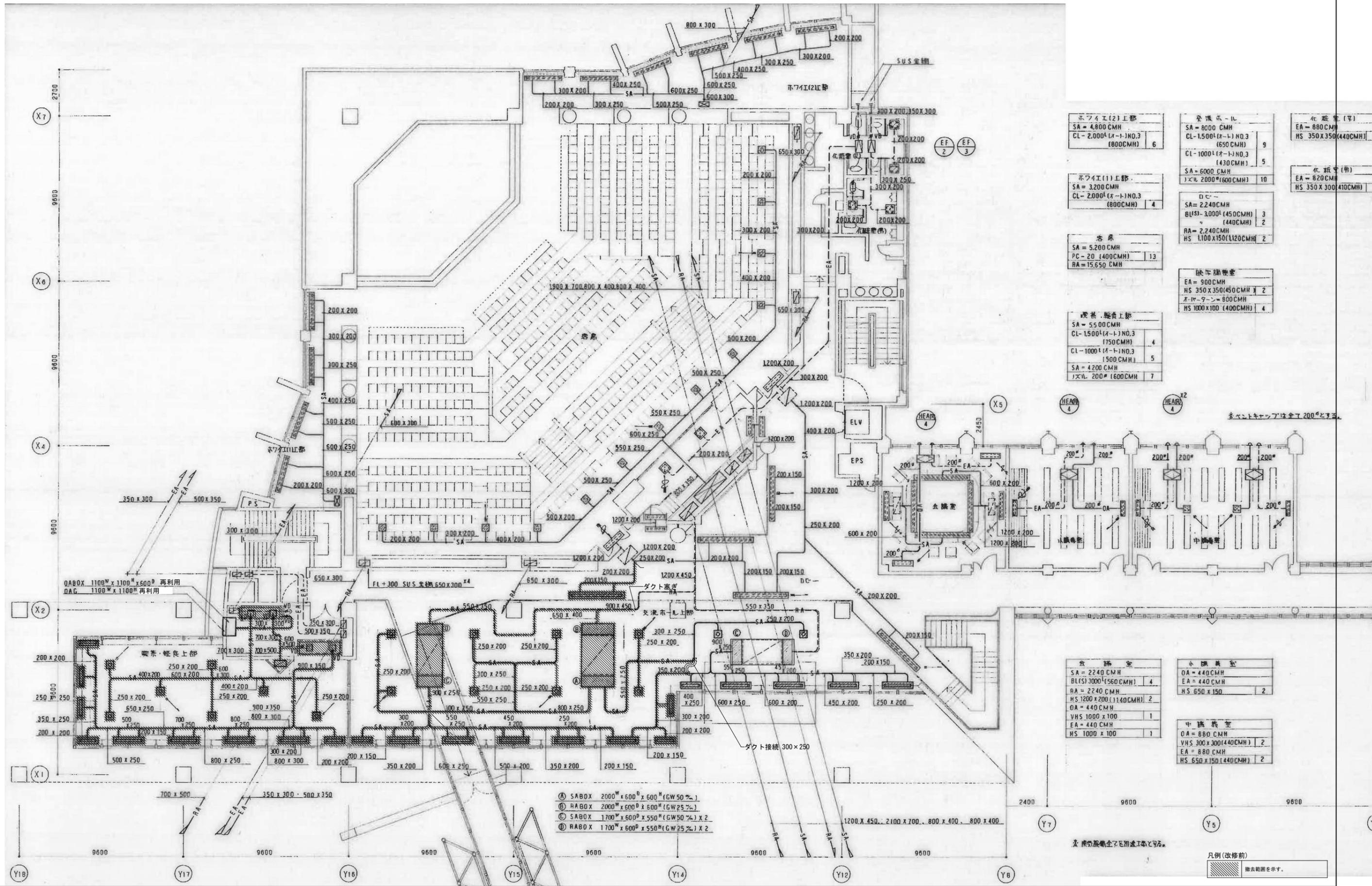
<table border="1"> <tr><td>客 席</td><td>RA = 33.100 CMH</td></tr> <tr><td>RAG 1600W x 450H</td><td>4</td></tr> <tr><td>(13912.5 CMH)</td><td></td></tr> </table>	客 席	RA = 33.100 CMH	RAG 1600W x 450H	4	(13912.5 CMH)		<table border="1"> <tr><td>更衣室</td><td>SA = 200 CMH</td></tr> <tr><td>VHS 200 x 200</td><td>1</td></tr> </table>	更衣室	SA = 200 CMH	VHS 200 x 200	1	<table border="1"> <tr><td>会議資料室</td><td>OA = 440 CMH</td></tr> <tr><td>EA = 440 CMH</td><td></td></tr> <tr><td>HS 650 x 100</td><td></td></tr> </table>	会議資料室	OA = 440 CMH	EA = 440 CMH		HS 650 x 100							
客 席	RA = 33.100 CMH																							
RAG 1600W x 450H	4																							
(13912.5 CMH)																								
更衣室	SA = 200 CMH																							
VHS 200 x 200	1																							
会議資料室	OA = 440 CMH																							
EA = 440 CMH																								
HS 650 x 100																								
<table border="1"> <tr><td>講 堂</td><td>RA = 4500 CMH</td></tr> <tr><td>RAG 450W x 1000H</td><td>2</td></tr> <tr><td>(2250 CMH)</td><td></td></tr> </table>	講 堂	RA = 4500 CMH	RAG 450W x 1000H	2	(2250 CMH)		<table border="1"> <tr><td>喫茶・軽食</td><td>RA = 9700 CMH</td></tr> <tr><td>RAG (建築工事)</td><td>1</td></tr> <tr><td>(9700 CMH)</td><td></td></tr> </table>	喫茶・軽食	RA = 9700 CMH	RAG (建築工事)	1	(9700 CMH)		<table border="1"> <tr><td>セミナー 長室</td><td>OA = 440 CMH</td></tr> <tr><td>EA = 440 CMH</td><td></td></tr> <tr><td>HS 650 x 100</td><td></td></tr> </table>	セミナー 長室	OA = 440 CMH	EA = 440 CMH		HS 650 x 100					
講 堂	RA = 4500 CMH																							
RAG 450W x 1000H	2																							
(2250 CMH)																								
喫茶・軽食	RA = 9700 CMH																							
RAG (建築工事)	1																							
(9700 CMH)																								
セミナー 長室	OA = 440 CMH																							
EA = 440 CMH																								
HS 650 x 100																								
<table border="1"> <tr><td>エントランスホール</td><td>SA = 2,240 CMH</td></tr> <tr><td>BL(S)2,500 (1448CMH)</td><td>5</td></tr> <tr><td>RA = 2240 CMH</td><td></td></tr> <tr><td>HS 1100 x 150 (120CMH)</td><td>2</td></tr> </table>	エントランスホール	SA = 2,240 CMH	BL(S)2,500 (1448CMH)	5	RA = 2240 CMH		HS 1100 x 150 (120CMH)	2	<table border="1"> <tr><td>前室</td><td>SA = 280 CMH</td></tr> <tr><td>VHS 250 x 200</td><td>1</td></tr> <tr><td>RA = 480 CMH</td><td></td></tr> <tr><td>HS 400 x 200</td><td>1</td></tr> </table>	前室	SA = 280 CMH	VHS 250 x 200	1	RA = 480 CMH		HS 400 x 200	1	<table border="1"> <tr><td>研究室</td><td>OA = 440 CMH</td></tr> <tr><td>EA = 440 CMH</td><td></td></tr> <tr><td>HS 650 x 100</td><td></td></tr> </table>	研究室	OA = 440 CMH	EA = 440 CMH		HS 650 x 100	
エントランスホール	SA = 2,240 CMH																							
BL(S)2,500 (1448CMH)	5																							
RA = 2240 CMH																								
HS 1100 x 150 (120CMH)	2																							
前室	SA = 280 CMH																							
VHS 250 x 200	1																							
RA = 480 CMH																								
HS 400 x 200	1																							
研究室	OA = 440 CMH																							
EA = 440 CMH																								
HS 650 x 100																								
<table border="1"> <tr><td>女装ホール</td><td>RA = 14,000 CMH</td></tr> <tr><td>RAG 750W x 1700H</td><td>2</td></tr> <tr><td>(7000 CMH)</td><td></td></tr> </table>	女装ホール	RA = 14,000 CMH	RAG 750W x 1700H	2	(7000 CMH)		<table border="1"> <tr><td>事務室</td><td>OA = 440 CMH</td></tr> <tr><td>EA = 440 CMH</td><td></td></tr> <tr><td>HS 650 x 100</td><td>2</td></tr> </table>	事務室	OA = 440 CMH	EA = 440 CMH		HS 650 x 100	2	<table border="1"> <tr><td>教員研究室</td><td>OA = 440 CMH</td></tr> <tr><td>EA = 440 CMH</td><td></td></tr> <tr><td>HS 650 x 100</td><td></td></tr> </table>	教員研究室	OA = 440 CMH	EA = 440 CMH		HS 650 x 100					
女装ホール	RA = 14,000 CMH																							
RAG 750W x 1700H	2																							
(7000 CMH)																								
事務室	OA = 440 CMH																							
EA = 440 CMH																								
HS 650 x 100	2																							
教員研究室	OA = 440 CMH																							
EA = 440 CMH																								
HS 650 x 100																								

<table border="1"> <tr><td>7F-7</td><td>SA = 840 CMH</td></tr> <tr><td>VHS 200 x 200 (210CMH)</td><td>4</td></tr> <tr><td>RA = 840 CMH</td><td></td></tr> <tr><td>HS 1200 x 150</td><td>1</td></tr> </table>	7F-7	SA = 840 CMH	VHS 200 x 200 (210CMH)	4	RA = 840 CMH		HS 1200 x 150	1	<table border="1"> <tr><td>化粧室(女)</td><td>EA = 990 CMH</td></tr> <tr><td>HS 350 x 300 (495CMH)</td><td>2</td></tr> </table>	化粧室(女)	EA = 990 CMH	HS 350 x 300 (495CMH)	2	<table border="1"> <tr><td>電 話 室</td><td>OA = 2500 CMH</td></tr> <tr><td>HS 600 x 700 (FD付)</td><td>1</td></tr> </table>	電 話 室	OA = 2500 CMH	HS 600 x 700 (FD付)	1
7F-7	SA = 840 CMH																	
VHS 200 x 200 (210CMH)	4																	
RA = 840 CMH																		
HS 1200 x 150	1																	
化粧室(女)	EA = 990 CMH																	
HS 350 x 300 (495CMH)	2																	
電 話 室	OA = 2500 CMH																	
HS 600 x 700 (FD付)	1																	
<table border="1"> <tr><td>化粧室(男)</td><td>EA = 900 CMH</td></tr> <tr><td>HS 300 x 300 (450CMH)</td><td>2</td></tr> </table>	化粧室(男)	EA = 900 CMH	HS 300 x 300 (450CMH)	2	<table border="1"> <tr><td>ELV 機械室</td><td>OA = 2500 CMH</td></tr> <tr><td>HS 600 x 700 (FD付)</td><td>1</td></tr> </table>	ELV 機械室	OA = 2500 CMH	HS 600 x 700 (FD付)	1									
化粧室(男)	EA = 900 CMH																	
HS 300 x 300 (450CMH)	2																	
ELV 機械室	OA = 2500 CMH																	
HS 600 x 700 (FD付)	1																	
<table border="1"> <tr><td>身障者用便所</td><td>EA = 110 CMH</td></tr> <tr><td>HS 150 x 150</td><td>1</td></tr> </table>	身障者用便所	EA = 110 CMH	HS 150 x 150	1														
身障者用便所	EA = 110 CMH																	
HS 150 x 150	1																	

<table border="1"> <tr><td>化粧室(女)</td><td>EA = 990 CMH</td></tr> <tr><td>HS 350 x 300 (495CMH)</td><td>2</td></tr> </table>	化粧室(女)	EA = 990 CMH	HS 350 x 300 (495CMH)	2	<table border="1"> <tr><td>電 話 室</td><td>OA = 2500 CMH</td></tr> <tr><td>HS 600 x 700 (FD付)</td><td>1</td></tr> </table>	電 話 室	OA = 2500 CMH	HS 600 x 700 (FD付)	1
化粧室(女)	EA = 990 CMH								
HS 350 x 300 (495CMH)	2								
電 話 室	OA = 2500 CMH								
HS 600 x 700 (FD付)	1								
<table border="1"> <tr><td>化粧室(男)</td><td>EA = 900 CMH</td></tr> <tr><td>HS 300 x 300 (450CMH)</td><td>2</td></tr> </table>	化粧室(男)	EA = 900 CMH	HS 300 x 300 (450CMH)	2	<table border="1"> <tr><td>ELV 機械室</td><td>OA = 2500 CMH</td></tr> <tr><td>HS 600 x 700 (FD付)</td><td>1</td></tr> </table>	ELV 機械室	OA = 2500 CMH	HS 600 x 700 (FD付)	1
化粧室(男)	EA = 900 CMH								
HS 300 x 300 (450CMH)	2								
ELV 機械室	OA = 2500 CMH								
HS 600 x 700 (FD付)	1								
<table border="1"> <tr><td>身障者用便所</td><td>EA = 110 CMH</td></tr> <tr><td>HS 150 x 150</td><td>1</td></tr> </table>	身障者用便所	EA = 110 CMH	HS 150 x 150	1					
身障者用便所	EA = 110 CMH								
HS 150 x 150	1								

※ 機材取付位置は別途工事とする。
 凡例(改修前)
 撤去範囲を示す。

A1: 原寸
A3: 50%縮小



ノワイエ(2)上部 SA = 4,800 CMH CL - 2,000 ¹ (オ-1)NO.3 (800CMH) 6	交流ボ-ル SA = 800 CMH CL - 1,500 ¹ (オ-1)NO.3 (650 CMH) 9 CL - 1,000 ¹ (オ-1)NO.3 (430 CMH) 5 SA = 600 CMH 1 x CL 2,000 ¹ (600 CMH) 10	化粧室(男) EA = 880 CMH HS 350 x 350 (440 CMH)
--	---	--

ノワイエ(1)上部 SA = 3,200 CMH CL - 2,000 ¹ (オ-1)NO.3 (800CMH) 4	コ-プ SA = 2,240 CMH BL(S) - 3,000 ¹ (450 CMH) 3 " (440 CMH) 2 RA = 2,240 CMH HS 1,100 x 150 (1120 CMH) 2	化粧室(女) EA = 820 CMH HS 350 x 300 (410 CMH)
--	---	--

客席 SA = 5,200 CMH PC - 20 (400 CMH) 13 RA = 15,650 CMH	映写機巻上 EA = 900 CMH HS 350 x 350 (450 CMH) 2 オ-パ-ション = 800 CMH HS 1000 x 100 (400 CMH) 4
---	---

喫茶・軽食上部 SA = 5,500 CMH CL - 1,500 ¹ (オ-1)NO.3 (750 CMH) 4 CL - 1,000 ¹ (オ-1)NO.3 (500 CMH) 5 SA = 4,200 CMH 1 x CL 2,000 ¹ (600 CMH) 7
--

大講堂 SA = 2,240 CMH BL(S) 3,000 ¹ (560 CMH) 4 RA = 2,240 CMH HS 1,200 x 200 (1140 CMH) 2 OA = 440 CMH VHS 1000 x 100 1 EA = 440 CMH HS 1000 x 100 1	小講義室 OA = 440 CMH EA = 440 CMH HS 650 x 150 2
---	--

中講義室 OA = 880 CMH VHS 300 x 300 (440 CMH) 2 EA = 880 CMH HS 650 x 150 (440 CMH) 2

- ① SABOX 2000^W x 600^D x 600^H (GW50%)
- ② RA BOX 2000^W x 600^D x 600^H (GW25%)
- ③ SABOX 1700^W x 600^D x 550^H (GW50%) X 2
- ④ RA BOX 1700^W x 600^D x 550^H (GW25%) X 2

大講堂 SA = 2,240 CMH BL(S) 3,000 ¹ (560 CMH) 4 RA = 2,240 CMH HS 1,200 x 200 (1140 CMH) 2 OA = 440 CMH VHS 1000 x 100 1 EA = 440 CMH HS 1000 x 100 1	小講義室 OA = 440 CMH EA = 440 CMH HS 650 x 150 2
---	--

中講義室 OA = 880 CMH VHS 300 x 300 (440 CMH) 2 EA = 880 CMH HS 650 x 150 (440 CMH) 2

凡例(改修前)
 撤去範囲を示す。